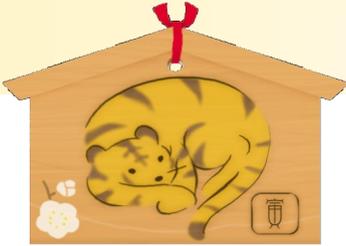


## 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



## 平成22年庚寅 住職年頭挨拶

## 謹賀新年

「春在梅梢帯雪寒 春は梅梢に在りて雪を帯びて寒し」

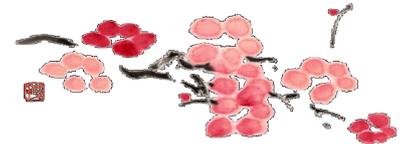
(天童如浄禅師)

道元禅師は真の師を求め、中国に渡り、紆余曲折を経て如浄禅師と邂逅し、法を嗣がれました。後、日本に戻られてから永平寺を開き、日本曹洞宗の開祖となるわけです。その道元禅師の師匠である天童如浄禅師の言葉です。

寒さが厳しい程、梅は清らかな香りを放ちます。そして、梅の花は、未だ風も冷たい頃に花を開き、最初に春の兆しを運びます。春が来たから梅が咲くのではなく、梅が咲くから春が来る、そういう見方も、出来る訳です。自然に春が来るのを待っているのではなく、寒冷な雪の中に、梅が咲く事で春を呼び込んでいると。

これは、言い換えれば、辛い環境の中に、ほんの少しでも良い兆しを見つける。そして、それを切欠として、更に良い事のご縁を拓けていく……。楽しいから笑うのは当たり前ですが、笑えば誰でも楽しくなります。即ち「笑う門には福来る」という事です。

今年は曹洞宗群馬県宗務所梅花主事として最終年となります。梅の花の力を以て、更に御精進させていただく所存です。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。合掌



## 平成22年 年回表

一周忌	平成二十一年	二十三回忌	昭和六十三年
三回忌	平成二十年	二十七回忌	昭和五十九年
七回忌	平成十六年	三十三回忌	昭和五十三年
十三回忌	平成十年	五十回忌	昭和三十六年
十七回忌	平成六年	百回忌	明治四十四年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。

※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。

## 平成22年

## 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷・年賀受  
 1/4~1/7 年始挨拶  
 ※1/10 年賀寺例  
 ※2/3 大節分会  
 ※2/15 釈尊涅槃会  
 ※3/14 大般若・大施食会法要  
 ※3月中旬 筆供養法要  
 3/18~3/24 春季彼岸会  
 3/23 旧蚕影山例祭日  
 ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要  
 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経  
 ※7月下旬 第29回子供禅の集い  
 8月上旬 夏季おてんま  
 ※8/10 中元寺例  
 8/13~8/16 孟蘭盆会  
 9/20~9/26 秋季彼岸会  
 ※11/3 檀信徒参拝研修旅行  
 12月上旬 冬季おてんま  
 ※12/8 釈尊成道会  
 ※12/10 歳暮寺例  
 ※12/31 除夜会  
 ※毎週土・日曜日 書道教室  
 ※毎週水曜日 定例坐禅会  
 ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室  
 ※は、御本寺仁叟寺にて開催  
 ※宗務所執務日は月水金

## 大施食会及び蚕影山例祭などのお知らせ

今年も恒例の行事であります当寺大施食会及び蚕影山例祭の法要が、4月29日（昭和の日）に修行を予定しております。また、その際に併せて檀信徒総会も開催予定。当寺檀信徒の皆様は、是非ご参集賜りたく存じます。

また、本年は住職が梅花主事を拝命しております曹洞宗群馬県宗務所の松本泰恵所長老師及び御本寺・仁叟寺渡辺啓司住職老師を拜請し、御本尊様はじめとした仏像修復の開眼と蚕影山顕彰碑の除幕式を修行する予定です。特に、御本尊様はじめとする仏像修復事業に於かれましては、檀信徒はじめ多数のご縁を有する方々のご尽力を賜り、今回の式を勤めさせて戴くこととなりました。厚く御礼申し上げます。

昨年には住職が役員を勤めます吉井町仏教会と地域社会の安全・防犯の面で相互協力関係を締結いたしました藤岡警察署の高橋利夫生活安全課長による講演会、一昨年は高崎市大雲寺御住職であり群馬県宗務所梅花部長であります仁科清信師範老師に梅花法話を賜り、ほか開基家裔孫である窪田広氏による歴史講演や住職友人の講談師櫻井若洲師匠による講談などを行わせていただきました。御蔭様で檀信徒軒数よりも多い毎年90名ほどの参列の方々が来られ、盛会裡に法要を勤めさせております。以前には、「筍会」という名称のとおり、法要終了後には檀信徒会館にて当寺竹林で採れた筍料理なども振舞われます。また、参加されたことのない方は是非、この機会にご来山いただければ幸甚に存じます。

なお、詳細は後ほど当寺より通知が届きますので、そちらをご参照下さい。

↓ 昨年の法要の様子（新聞にも掲載されました 上毛新聞5/13付）



じゅうさんぶつがふく



## 龍源寺探索-25- 「十三佛画幅」



← 龍源寺所蔵「十三佛画幅」

今回の探索では、龍源寺が所蔵する画幅「十三佛様」をご紹介します。

当地では、中陰（亡くなってから四十九日間の時期）にご自宅に祭壇を設け、位牌・遺骨・遺影を安置し、供養を行う習わしとなっております。その際に、その護り本尊として、菩提寺から十三佛の画幅を貸与し、祭壇の中心に掲げます。初七日から始まり七七の四十九日まで、供養を続けるわけです。

その十三佛信仰を表す画幅が当寺には数点遺されており、葬儀がある場合は施主家に貸与しております。施主名が施されている画幅は四点あり、「多胡 白田實」・「矢田 江川俊廣」・「多胡 白田實」・「東京 山田仁」と箱書がされております。

なお、十三佛信仰については拙僧の叔父・渡辺章悟東洋大学教授の著作『追善供養の仏さま十三仏信仰』（溪水社・北辰堂）に詳細が出ております。ご興味ご関心のある方は、是非ご一読することをお勧めいたします。

## 仁叟寺通信-28-「本堂改修工事」

仁叟寺本堂の柱三本を入れ替えを行う工事を昨年末に行いました。施工業者は、群馬県を代表する渋川市の宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社さんに依頼。匠の技で、老朽化した柱も一新されました。

また、当工事につきましては、建物が市指定重要文化財でもあるため、高崎市とも協議を行いました。結果、旧吉井町地区では一番最初の文化財保護事業として、ご協力賜りました。関係各位には、厚く御礼申し上げます。

立て替えた樺材からは、江戸期のものと思われる墨書も見つかりました。火災戦災に遭うことなく500年の歴史を伝える本堂は、こういったその時代時代の檀信徒・住職などの尽力でもって今に伝わっている訳です。



↑ 工事の様子（仁叟寺本堂）

## 仁叟寺御住職が大本山總持寺焼香師法要を修行



↑ 大本山總持寺侍局にて  
 (左) 龍源寺住職  
 (中) 仁叟寺住職 (父)  
 (右) 信永院副住職

龍源寺前住職であり仁叟寺住職の渡辺啓司老師が、昨年10月12日（月）に、大本山總持寺大祖堂に於いて焼香師を勤められました。また、僧階が権大教師となり、黄恩衣の被着も許可されることとなりました。いづれも、非常に名誉なことであります。おめでとうございます。

その、大本山總持寺での法要は、御征忌会と申します。焼香師として勤められた法要は、開山様である瑩山禪師にお供えをする太祖大師献供諷經法要です。同法

要は恒例の秋の研修旅行と兼ねさせて戴き、法縁ある尊宿老師・親戚・仁叟寺龍源寺檀信徒・京浜地区檀信徒等約150人以上が参列。お蔭様で、仁叟寺からは大型バス3台で伺いました。参加された皆様方、どうもありがとうございました。



↑ 法要の一齣（大祖堂）

## 梅花流県大会、盛会裡に圓成

住職が梅花主事を勤めます曹洞宗群馬県宗務所主催で恒例の梅花県大会が昨年11月11日（水）に、沼田市の利根沼田文化会館にて修行されました。今回で第52回目となる大会で、清興として大本山總持寺前貫首・板橋興宗大禅師猊下によるご垂示（ご法話）を賜りました。

宗務所・梅花部・教区寺院・寺族会等多くの方々のご協力を戴き、参加人数は700人を超え、盛会裡に大会を圓成す



↑ 梅花流群馬県大会奉詠風景

る事が出来ました。来年も開催いたします。龍源寺でも梅花講を立ち上げる予定ですので、是非、縁のある皆様方のご参加いただければと思います。

## 仏像修復事業 ～これ迄の進捗状況とこれからの予定のご報告～

平成17年秋～ 平成20年秋	総役員会会の席上にて仏像修復事業の提起。 協議及び検討審議を重ねた結果、総役員各位の諒解を得、 翌平成21年4月29日の檀信徒総会での提案を行うことを確認。
平成21年4月 平成21年6月 全 全	檀信徒総会の席上、事業の提案をし、諒解を得る。 檀信徒各位に修復趣旨書及び寄附依頼状などを発送。 総役員各位にて本尊抜魂供養及び代理本尊安位法要を修行。 本尊様が龍源寺より仏具店・放光の長岡工房の仏師の下に移動。
平成21年秋 平成21年9月 平成21年9月 平成21年10月 全	他の御尊像も順次修復作業を施す予定（寄附額によって随時検討）を確認。 責任役員会議開催。 御本尊様が修復をされ帰山。引き続き、脇侍佛2体が修復の爲、搬出。 修復代金の支払い（第一回）。 本堂須彌壇改修工事（当寺檀信徒・加部元信氏による奉仕施工）。
平成21年11月 平成21年12月	総代世話人会議。 脇侍佛2体帰山。引続き 観音地蔵菩薩像の修復。
平成22年1月 全	修復代金の支払い予定 （第二回）。 蚕影山顕彰碑・志納者碑 用地工事（柿田緑化）。
平成22年3月 全 全	観音地蔵菩薩帰山予定。 蚕影山顕彰碑・志納者碑 建立予定（多胡石材）。 本堂畳張替工事予定 （榊原畳店）。
平成22年4月 全	施食会・蚕影山法要に併 せて開眼除幕法要予定。 修復代金の支払い予定 （第三回）。



右) 修復前本尊様 左) 修復後本尊様→

## 行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。

昨年は山内に於いては長年の懸案であった仏像修復事業が始まり、御蔭様をもちまして非常に順調に進行しております。檀信徒はじめ関係者各位に於かれましては、厚く御礼申し上げます次第です。

住職地龍源寺はもちろん副住職地仁叟寺のほか宗務所執務や行政及び社会福祉関係のお勤め等も不肖ながら勤めさせていただいており、昨年に引き続き慌しくなっております。出来得ることはしっかりと務めさせていただこうと思っておりますので、何卒、本年も宜しくお願い申し上げます。

合掌

